財務・資本戦略

財務・資本戦略

財務戦略の基本方針は、(1)企業価値の向上 (2)健全な財務基盤の構築 (3)株主還元を3本柱にしています。2020年3月期は、大型投資が一巡し、在庫の削減実施により営業キャッシュ・フローが改善しました。また、有利子負債の圧縮により、バランスシートが改善したため、自己資本比率60.5%、ネットD/Eレシオ+0.05倍と、健全な財務状態を維持しています。

	2019年3月期	2020年3月期	前期比	コメント
資産合計	1,369億円	1,360億円	▲9億円	大型投資が一巡し、借入金の圧縮により減少
自己資本	803億円	822億円	+19億円	純利益の一部を内部留保したことにより増加
現金及び現金同等物	120億円	184億円	+63億円	営業キャッシュ・フローの改善により増加
有利子負債	286億円	230億円	▲55億円	借入金の圧縮により減少
自己資本比率	58.6%	60.5%	+1.9ポイント	有利子負債の減少により上昇
ネットD/Eレシオ	+0.20倍	+0.05倍	▲0.15ポイント	有利子負債の減少により低下
ROE	6.0%	4.5%	▲1.5ポイント	利益の減少に伴う低下

ROE

10年VISIONの成長戦略実現に向け、中期経営計画に基づき戦略的な投資を進め、新しい事業と市場に挑戦しています。収益力を高め、ROE9%以上を安定的に維持することを目標に企業価値の向上に努めていきます。

健全な財務基盤の構築

事業拡大のための成長投資に柔軟に対応できる安定した財務基盤を構築します。当社は、設備関連の企業であり景気に左右されるため、最適な財務レバレッジの水準として、自己資本比率60%以上を目安としています。そして、不測の事態に備え、突発的な資金需要にも機動的に対応できる手元資金を確保しています。また、新型コロナウイルスの影響に備え、有事の際の借入枠として、2020年6月に総額100億円のシンジケート方式によるコミットメントラインを新たに設定しています。さらに、持続的な成長を実現することを目的に新株予約権を2020年3月に発行し、資本増強と資金調達を実施しました。なお、外部借入は財務健全性を維持できる範囲としてネットD/Eレシオが0.3倍程度に収まるよう管理し、資金調達の多様化を図っています。

株主還元の方針

経営基盤の充実とさらなる事業拡大のための設備投資や研究開発投資等を実施することにより、企業価値の向上を図るとともに、株主還元についても安定的な配当を基本方針としています。

10年VISION、中期経営計画に基づき成長戦略を推進しているため、設備投資や研究開発への投資を継続的に実施する計画です。成長投資のための自己資本を十分に確保したうえで、株主の皆様への還元については配当性向30%を目安としています。